

所属 国際関係学科	職名 准教授	氏名 江阪 太郎	大学院における研究指導担当資格の有無 (有)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年月日	概 要		
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む) ①自作したレジュメによる講義形態。 ②頻繁に宿題を出している。		2010年4月～2016年3月 2010年4月～2016年3月	①毎回、授業の前にレジュメを配布して、それに基づいて講義を行っている。 ②頻繁に宿題を出すことにより、復習の徹底と知識の習得を目指している。		
2 作成した教科書、教材、参考書 自己作成のレジュメ。		2010年4月～2016年3月	各回の授業内容をレジュメとして作成している。		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等					
4 その他教育活動上特記すべき事項					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・共 著の別	発行または発表の年月 (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
はじめて学ぶ国際金融論	共著	2015年9月	有斐閣 (有斐閣ストゥディア)	(共著者) 永易淳・吉田裕司	
論文					
<i>De Facto</i> Exchange Rate Regimes and Currency Crises: Are Pegged Regimes with Capital Account Liberalization Really More Prone to Speculative Attacks?	単著	2010年6月	<i>Journal of Banking and Finance</i> , 34 (Elsevier)		1109-1128
Do Hard Pegs Avoid Currency Crises? An Evaluation Using Matching Estimators	単著	2011年10月	<i>Economics Letters</i> , 113 (Elsevier)		35-38

Testing the Effectiveness of Market-Based Controls: Evidence from the Experience of Japan with Short-Term Capital Flows in the 1970s	共著	2013年(春)	<i>International Finance</i> , 16 (Wiley)	with Shinji Takagi	45-69
Evaluating the Effect of <i>De Facto</i> Pegs on Currency Crises	単著	2013年11-12月	<i>Journal of Policy Modeling</i> , 35 (Elsevier)		943-963
Are Consistent Pegs Really More Prone to Currency Crises?	単著	2014年6月	<i>Journal of International Money and Finance</i> , 44 (Elsevier)		136-163
研究発表(口頭)					
Evaluating the Effect of <i>De Facto</i> Pegs on Currency Crises Using Matching Methods	単著	2010年9月	日本経済学会 2010年度秋季大会(関西学院大学)		
Testing the Effectiveness of Market-Based Controls: Evidence from the Experience of Japan with Short-Term Capital Flows in the 1970s	共著	2012年2月	Third Osaka Workshop on International Economic	With Shinji Takagi	
Are Consistent Pegs Really More Prone to Currency Crises? An Analysis using Matching Estimators	単著	2012年3月	Monetary Economics Workshop (MEW)		
Are Consistent Pegs Really More Prone to Currency Crises? An Analysis using Matching Estimators	単著	2012年5月	日本金融学会 2012年度春季大会(立正大学)		
ジャーナル・レフリー					
<i>Developing Economies</i>					
<i>Economic Systems</i>					
<i>Japanese Economic Review</i>					
<i>Journal of International Financial Markets, Institutions and Money</i>					
<i>Journal of International Money and Finance</i>					
<i>Journal of Macroeconomics</i>					

外部資金獲得					
科学研究費 基盤研究 (B) 2009 年度～2011 年度 研究分担者					
科学研究費 若手研究 (B) 2011 年度～2013 年度 研究代表者					
科学研究費 基盤研究 (C) 2014 年度～2016 年度 研究代表者					
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
1 所属学会：日本経済学会、日本金融学会					
日本金融学会での討論者	日本金融学会 2010 年度秋季大会 (神戸大学)				
日本国際経済学会での討論者	日本国際経済学会 2010 年第 69 回全国大会 (大阪大学)				
国際ワークショップでの討論者	Second Osaka Workshop on International Economic, 2011 年 2 月 (大阪)				
日本金融学会での討論者	日本金融学会 2013 年度春季大会 (一橋大学)				
日本金融学会での討論者	日本金融学会 2015 年度春季大会 (東京経済大学)				
日本経済学会での討論者	日本経済学会 2015 年度春季大会 (新潟大学)				
2 社会活動					
2010 年 7 月 15 日、2011 年 6 月 30 日、 2012 年 6 月 21 日、2013 年 6 月 27 日、 2014 年 6 月 12 日、2015 年 5 月 28 日	神戸婦人大学「お金 (マネー) の経済学」講師				